

2018年7～8月の属人区長の司牧的な旅

フェルナンド・オカリス師は、属人区の信者とその友人たちに会うため、スペイン、ナイジェリア、アルゼンチン、ボリビア、パラグアイを訪問します。以下が、この司牧旅行の予定です。

2018/06/29

►属人区長の司牧旅行の予定をJPG形式で描いたグラフィック

▶属人区長の司牧旅行の予定をPDF形式で描いたグラフィック

すでに2017年に起こったように、フェルナンド・オカリスは、7月と8月に様々な司牧的な旅を通して、オプス・デイのメンバーや、協力者や、友人に会うことがけきます。

6月の終わりに、属人区長はローマからパンプローナ（スペイン）へ出発する。7月13日にコバドンガ大聖堂に行き、オビエド大司教、ヘスス・サンス師とミサをたて、当の大聖堂で行われるマリア聖年を祝う。

パンプローナでもう少し短期滞在した後、7月19日にマドリードからラゴス（ナイジェリア）へ飛行し、7月26日まで滞在する予定です。

スペインに戻り、8月2日にはマドリッドからブエノスアイレス（アルゼンチン）に向かいます。ここから8月8日にラパス（ボリビア）に移り

ます。8月13日、アスンシオン（パラグアイ）に行く予定です。同じ日はサンタ・クルス・デ・ラ・シエラで数時間停止します。8月16日、アスンシオンからパンプローナに戻ります。

9月1日には、聖母マリアにささげられた大聖堂トレシウダー（スペイン）でファミリーデーに参加し、翌日、ガブリエル・ロブレディヨ、ハビエル・ペレス、エマヌエル・エストラダの助祭3人の司祭叙階に参加します。

数日後、彼はローマに戻ります。